

平成30年度地域ぐるみで
「体験の風をおこそう」運動推進事業
集まれ！卓球フレンズ！
～卓球が大好き 世代間交流の場に～



1. 目的

小学生・中学生と一般の卓球愛好家（高校生、大学生を含む）が卓球を通して世代間交流を図る。

2. 実施日

平成30年12月8日（土）～9日（日）1泊2日

3. 対象

小学生・中学生・一般（高校生・大学生を含む）の卓球愛好家

4. 参加者 / 募集定員

80名 / 80名

5. プログラム（要約）

株式会社エクセディ女子卓球部監督他、中学校・高等学校の指導者として卓球の普及に努める伊藤英治氏を講師として招聘し、小・中学生と一般の卓球愛好家が卓球の練習と試合を通して交流を行った。



スケジュール

12月8日（土）1日目
「卓球の講習会・実技指導・練習」 「交流会」
12月9日（日）2日目
「交流試合」



【1日目】

開会式後、参加者は、プレイホールとなかよしホールに分かれ、すぐに練習に取り組んだ。はじめに、講師から、ラケットの使い方の基本や、カット・ドライブのテクニックなどを、実技を交えて伝えられ、真剣な眼差しで聞き練習に取り組んでいた。また、講師が順に各台を回り、参加者一人ひとりとラリーをする中で、個々に具体的なアドバイスを言い、時には参加者の手を持ってサーブやスマッシュのコツを伝えていた。参加者は、コーチのアドバイスをもとに、熱心に練習をするとともに、さまざまな世代の参加者とラリーを通して、交流を楽しみながら汗を流した。



【2日目】

2日目、プレイホールとなかよしホールの2カ所に分かれ、各台4人グループでのリーグ戦を行った。いずれのホールでも、真剣な表情でゲームに取り組む姿が見られ、試合の合間には、グループでアドバイスをし合う姿も見られた。午後は、午前中の成績によってグループ分けをし、レベルの近い人同士で交流試合を行った。どの台でも白熱した試合が行われ、目いっぱい卓球を楽しむことができていた。



6. まとめ

本事業は、今年で9年目となる人気事業のひとつである。試合を通して技術の向上を目指す人や、一人ひとりの技術レベルに合わせた指導を求める人など、今年も多く卓球愛好家が集まった。

参加者からは、「サーブについてわかりやすく教えてもらえて良かった。」 「たくさんの人といっぱいラリーができて楽しかった。」などの声が聞かれ、多くの方が、コーチの指導に満足し、卓球を通じた交流を楽しむことができたようだ。ここ数年、中学生の割合が高く、一般の方の参加が少ない傾向にある。今後は、一般の方にも多く参加していただけるよう、募集の仕方を工夫し、「ここでもしか感じることでできない」世代を越えた卓球愛好家の出会いの場を提供できればと思う。

（企画指導専門職 曾和 良友）